



栄小学校だより

令和7年7月18日(金) No.13

着衣泳講習会 (5・6年)

7月16日(水)3限目に6年生、4限目に5年生が「着衣泳講習」の授業を受けました。講師の先生方は、鈴鹿中央消防署の隊員のみなさんです。

この授業は、川や海等での水遊びの際に、おぼれないため、あわてずに浮いて救助を待つための訓練です。

子どもたちは、水着の上に服や靴等を着用して授業に臨み、貴重な体験をしました。

【もしもの場合は……消防署の方に教えていただいたこと】

- ①浮いて待つ
- ②水の中に助けに入らない
- ③水に浮くものを投げ入れる
- ④早い119番通報
- ⑤大人を呼ぶ

その他にも、「水の中に落ちたら、むやみに服や靴を脱がない方がよい」「2リットルのペットボトルを持つだけで体は浮く」「川や海等でサンダルが流された場合は、追いかけて『バイバイ』、命の方が大事」等を教えていただきました。

また、この日の5年生の着衣泳講習については、講習会の様子や児童のインタビューなど、レディオキューブ FM 三重(ラジオ番組)の取材も受けました。



